

日仏交流150周年記念シンポジウム

# 変容する社会と 教育システムの挑戦 —日本とフランス—

Japon/France, les défis des systèmes éducatifs  
dans deux sociétés en transition

日時：2008年10月10日(金) 9:00～19:00

11日(土) 9:30～18:30

会場：日仏会館 (渋谷区恵比寿3-9-25)

Date: du vendredi 10 octobre au samedi 11 octobre 2008

Lieu: Maison Franco-Japonaise, 3-9-25, Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo

## 10月10日(金)

### 開演の言葉 (9:00～)

ジャン＝フランソワ・サブレ (フランス国立科学研究所・FMSH)

### 基調講演 (9:15～10:30)

藤田英典 (国際基督教大学) 「教育改革を問う：公共性・機会平等・学力形成を中心に」

### 第1分科会 (10:45～12:00)

藤井佐知子 (宇都宮大学) 「日仏における教育のガバナンスと地方分権化」

マルク・グジョン (国民教育省) 「中央集権、地方分権と改革：公教育から国民教育へ」

### 第2分科会 (13:45～15:30)

小野田正利 (大阪大学) 「教職の困難：学校におけるイチャモン(無理難題要求の急増)」

若田康之 (東京学芸大学) 「日本の教師養成：その歴史と文化」

エルヴェ・アモン (作家) 「なぜフランスの教員は思い悩むのか」

### 第3分科会 (15:45～17:30)

大嶋誠 (大分大学) 「日本におけるフランス語教育の起源」

上原秀一 (宇都宮大学) 「日仏における外国語教育の現状」

アルベール・ブレヴォ (国民教育省) 「欧州における外国語教育：フランスの場合」

### 第4分科会 (17:40～18:55)

山田昌弘 (中央大学) 「希望格差社会と教育、家族」

エマニュエル・ダヴィアンコフ (新聞記者・作家) 「暴力が学校を麻痺させる時」

## 10月11日(土)

### 第5分科会 (9:30～11:15)

中野裕二 (駒沢大学) 「日本からみたフランス的統合モデル」

園山大祐 (大分大学) 「日本における外国人児童生徒の受入状況と不就学問題」

衛藤裕司 (大分大学) 「日本における障害のある児童生徒の教育システム：インクルーシブ教育の視点から」

### 第6分科会 (11:25～12:40)

木村涼子 (大阪大学) 「日本の教育システムとジェンダー：国家の教育政策と人々の教育ニーズ、そして教育達成の実態」

クリスチャン・ボードロ (パリ高等師範学校) 「女性に役立つ学校」

### 第7分科会 (14:00～15:15)

吉本圭一 (九州大学) 「高等教育学位の社会的レリバンスに関する日仏比較」

ジャン＝フランソワ・サブレ (CNRS・FMSH) 「富と学位：二つの制度—交錯する視線：フランス共和主義的無償制と日本の有償制」

### 第8分科会 (15:30～16:45)

森田伸子 (日本女子大学) 「日本における道徳教育：フランスの哲学との比較から」

イヴ・ティエリ (国民教育省) 「高校における哲学教育：フランスの場合」

### 総括 (17:00～18:30)

クリスチャン・フォレストイエ (国民教育省) 「フランス教育制度の主要な特性」

沼田裕之 (東北大学名誉教授) 「日本とフランスにおける文化差：日本のルソー研究者からみた近年の教育改革とは」

主催者：ジャン＝フランソワ・サブレ (フランス国立科学研究所) / 園山大祐 (大分大学教育福祉科学部)

後援：フランス外務省 / 在日フランス大使館 / 日仏会館 / CNRS / 文部科学省 / 国立教育政策研究所 / 大分大学

問い合わせ先：sonoyama@cc.oita-u.ac.jp (大分大学教育福祉科学部 園山研究室)

